

V 日高振興局

1. みなべ梅郷クラブがアサヒ飲料株式会社との意見交換会を開催

県では、県産うめの認知及びブランド力向上に資するため、アサヒ飲料（株）が県産のうめを使用して製造・販売を行っている炭酸飲料『「三ツ矢」梅』のPRに協力してきた。そのような背景から、今回アサヒ飲料（株）から「うめの生産現場の生の声を聞きたい」との要望があったため、みなべ町の若手生産者を代表して、みなべ梅郷クラブ（会長：前山拓海氏、以下「梅郷クラブ」）が対応し、8月4日にみなべ町で意見交換会を開催した。

意見交換会にはアサヒ飲料（株）関係者、梅郷クラブ員 8 名の他、みなべ町役場うめ課、県食品流通課、振興局農業水産振興課職員の計 15 名が参加した。

まず、みなべ町役場において、うめ課木田主幹から世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」の概要について、次に梅郷クラブ員の山本宗一郎氏から「耕作放棄地のうめ樹伐採」、中井貴章氏から「ニホンミツバチ保護」のプロジェクト活動について説明を行った。その後、梅郷クラブ員山本秀平氏のうめ園及び梅干し生産現場（みなべ町晩稲）、梅郷クラブプロジェクト活動現地（みなべ町東本庄）を案内し、うめ生産、産地の活性化に懸ける想いや将来のうめ産業のあるべき姿等について、活発な議論を交わした。

クラブ員からは、「よく知る飲料メーカーに生産現場を見てもらえることは大変光栄。機会があれば是非一緒に仕事をしたい」との声があった。また、アサヒ飲料（株）も「お伺いできてよかった。現場の皆様の熱い声をこれからの商品開発に反映していきたい」と語った。

当課としても、今回の意見交換会のような場のマッチング等を通じて、県産品のPRにつながる取組を継続していく。



意見交換会

（左：みなべ町役場、中：山本秀平氏漬梅倉庫、右：プロジェクト活動現地）

2. ニューファーマーズ激励会を開催

8月29日、印南町のサンシャイン牧場・果樹園において、日高地方4Hクラブ連絡協議会（会長：岡有輝氏、会員27名）と農業水産振興課の共催で「ニューファーマーズ激励会」を開催し、新規クラブ員2名と4Hクラブ員12名が出席した。

当激励会は、4Hクラブ員が日高地方の新規就農者や新規クラブ員を激励し、地域農業の担い手としての自覚を持ってもらうことや、同年代の農業者との交流を目的としている。

開会にあたり、岡会長が新たに仲間入りをした新規クラブ員に対して、歓迎と激励の言葉を述べた。続いて、参加者それぞれが、自身の栽培品目や就農の経緯、今後の目標などについて、自己紹介を行った。その後、新谷副会長が新規クラブ員に向けてクラブの活動内容を説明した。最後に構成する各地域のクラブの会長がそれぞれの活動紹介を行った。

今後、当課は、日高地方4Hクラブと協力し、クラブ員、新規就農者向けの研修会などを行っていく。



挨拶をする岡会長



自己紹介をおこなう新規就農者